

4月8日は花まつり。お釈迦さまの誕生日。美しい花園で生れた。真理の花を咲かせたということから花まつりという。

白い象にのって、^{マヤフジン}摩耶夫人の体内に入った子は、産月になった夫人が、現ネパールのルンビニー園に立ち寄った時、花をとろうとした夫人の右脇腹から生まれた。ルンビニー園は、良い香りの花々で一杯だった。太子は生まれるとすぐに七歩あるき、^{テンジョウテンガイカドクソン}「天上天下唯我独尊(この世で最も完全なものになって世の人々を救います)」と言った。右手は天を、左手は地をさしていた。七歩は、^{ロクドウジゴク ガ キ チクショウ}六道(地獄・餓鬼・畜生・^{シュラ ニンゲン テンジョウ}修羅・人間・天上)を超えた、一般の人以上をあらわすと言う。幼名ゴータマ・シッダルタ、後の^{シヤクソン}釈迦(釈尊・^{ブツダ}仏陀)である。

各地の寺では美しい^{ハナミドウ}花御堂に飾られた^{タンジョウブツ}誕生仏に、^{アマチャ}甘茶をそそいだりして、その誕生をお祝いする。